

# 令和4年度 第1回 静岡市中小企業・小規模企業応援会議 委員コメントまとめ

| 委員名              | ポイント   |
|------------------|--|
| 手塚委員<br>(小糸)     | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ カーボンニュートラル、D Xに関しては、人材の確保が困難であり、育成が不可欠な状況にあるため、各社が取り組んでいくには困難な状況である。</li> <li>➤ 上記を踏まえると、人材支援/育成事業が重要であるとする。</li> </ul>   |
| 矢部田委員<br>(清水商工会) | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ S D G sやD X・G Xについて、手法について解らない事業所が多い。先進した企業の取組の情報を得られることが望ましい。</li> <li>➤ まちの賑わいづくりの中で、移住促進が挙げられているが、快適な生活環境を整えることが重要であり、誰もが楽しめる空間づくりを考えなければならないのではないか。</li> </ul>  |
| 八木委員<br>(シツグリ)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 次世代に向けた地元の認識や再定義（再発見）はとても大事だと思われるが、単に今の企業を認知することが大切だとは思えない。次世代が主体的に認識を広げる手段が非常に重要課題だと考える。</li> <li>➤ 共創の定義を明確にするとともに、振興プランで願うイノベーションを起こすための人材は誰なのかを明らかにしていく作業が必要ではないかと思う。</li> </ul>  |
| 高橋委員<br>(ビネスト)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ SDGs、D X、脱炭素（G X）ともに重要性を理解している企業は多いが、実践まで行き届かないケースが多いと思われるので、具体的な取組み事例等を紹介する機会を増やして、啓蒙していくことが必要。</li> <li>➤ 戦略産業の「文化・クリエイティブ」の中で、「まちは劇場」と「クリエイター支援」や「CCCの運営」を一体で扱うことは適切か検討すべきではないか。</li> </ul>  |
| 大谷委員<br>(中央会)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ S D G sの普及拡大策（経営者への動機付け）として、組合によるS D G sの取組みに対する補助及び静岡市独自の認証制度の創設し、中小企業のS D G s経営の先進都市と目指すべき</li> <li>➤ 政策の視点も政策の柱も、個々の企業と〇〇との連携では効果も限定的であり、政策は面的取組み（支援）という観点が必要だと思う。</li> </ul>  |
| 竹内副座長<br>(竹屋旅館)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ あらゆる産業においていかに新しい視点＝多様性をもった組織を構築していくかが重要になる。そうした組織づくりを支援する＝人材の確保・育成・シェア・マッチング（プラットフォームづくり等）ことが、行政が出来る産業支援の大きな方向性であるのではないか。</li> <li>➤ 食品・ヘルスケアの部分において、横断的取組にDX・GXを入れるのであれば、「フードテック」の文言はどこかに入れておいた方がよい。</li> <li>➤ 静岡市内の誘客だけではなく、ハブ機能を有する観光都市としてのブランディングを進めていくべきではないか。</li> </ul> |

# 令和4年度 第1回 静岡市中小企業・小規模企業応援会議 委員コメントまとめ

| 委員名             | ポイント   |
|-----------------|--|
| 松下委員<br>(同友会)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 役割が異なるもの同士の共創（連携）には、共通の目標（目指すべき姿）が大切です。</li> <li>➤ 中小企業にとって、雇用は大きな負担でもあります。専門的な人材を短期間でオンデマンドに利用できる仕組み、労使ともwin-winの仕組みを作っていただきたい。</li> <li>➤ 昨今の気候変動の激しさに危機感を感じます。災害に対する備えについても、本プランに含んでいただきたい。</li> </ul> |
| 稲葉委員<br>(商工会議所) | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 施策の絞り込み（総花的にならないように）が必要である。</li> <li>➤ 産業分野で力を入れて取り組む方向性として、「情報発信」を最重要としたい。</li> <li>➤ すべての事業の横軸にDXとグリーンをクロスさせるようにしていただきたい。</li> </ul>  |
| 青山座長<br>(青山建材)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 色々な取り組みを市もしていると思うが、あまり市民には知られていない。私たち同友会でも同様の問題があるが、熱心なところとそうでないところに等しく情報を提供することは難しい。</li> <li>➤ そうした意味で、共創によるイノベーションの創出については、ぜひ取り組んでいただきたい。</li> </ul>   |
|                 |  |
|                 |  |
|                 |  |
|                 |  |